

閉会の挨拶

(財)地球環境戦略研究機関関西研究センター参与

藤塚 哲朗

本日は遅くまでご活発な議論をありがとうございました。

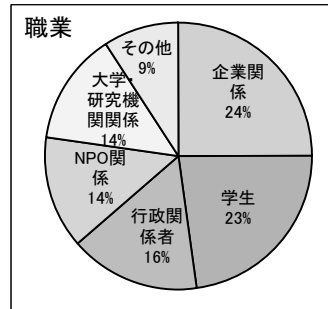
アジア地域は恐らく世界で最もダイナミックな発展を遂げている地域だと思えますが、その中で、本日議論されましたように、水の問題、環境の問題、あるいは資源の問題、ローカル特有な問題を含めてさまざまな問題があると思えます。その一方で、気候変動の問題に大きくこれらの問題はつながっていくと言えるのではないかとも思えます。また、アジアというなかなかひとくくりにはできない多様な地域特性を抱えている中で、今回のテーマ、EICという切り口はアジアの多様な問題を抱える各国の環境問題解決のための一つの切り口になるのではないかと考えております。

本日、IGES関西センターが今まで長い間研究してきましたアウトプットを有効に活用してこのような議論が行われたわけですが、今後とも気候変動の問題も含めましてIGES関西センターは積極的に取り組んでまいりたいと思えますので、また皆様方のご協力をよろしくお願ひしたいと思えます。ありがとうございました。

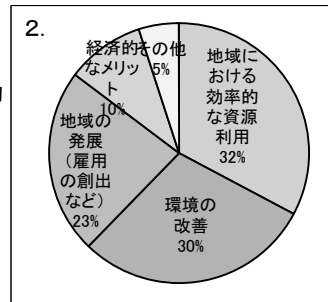


アンケート集計結果

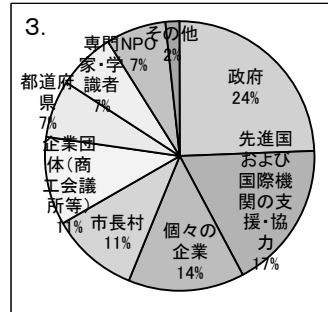
1.ご職業	その他コメント欄
企業関係	11
学生	10
行政関係者	7
NPO関係	6
大学・研究機関関係	6
その他	4



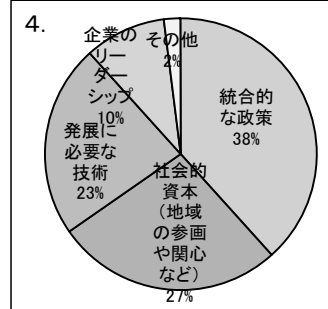
2.アジアにおいて、環境調和型産業クラスターの目指すところはどのようなことだと思いますか。	その他コメント欄
地域における効率的な資源利用	20
環境の改善	18
地域の発展(雇用の創出など)	14
経済的なメリット	6
その他	3



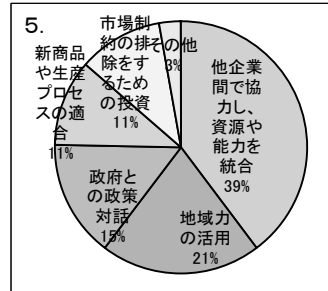
3.アジアにおいて、環境調和型産業クラスターに取り組む上で、誰がリーダーシップをとるべきだと思いますか。	その他コメント欄
政府	14
先進国および国際機関の支援・協力	10
個々の企業	8
市長村	6
企業団体(商工会議所等)	6
都道府県	4
専門家・学識者	4
NPO	4
その他	1



4.都市農村境界域(urban-rural fringe areas)において環境調和型産業クラスターが発展していくための必須条件はどのようなものだと思いますか。	その他コメント欄
統合的な政策	20
社会的資本(地域の参画や関心など)	14
発展に必要な技術	12
企業のリーダーシップ	5
その他	1



5.包括的なビジネス発展モデルとして環境調和型産業クラスターを発展させるために、企業はどんな戦略をとることが友好的だと思いますか。(複数回答)	その他コメント欄
他企業間で協力し、資源や能力を統合	29
地域力の活用	15
政府との政策対話	11
新商品や生産プロセスの適合	8
市場制約の排除するための投資	8
その他	2



計 42名